

ゴム、ゴム 道路



石川県立工業高等学校

池端 美佐都 今川 昌代 元尾 有希

1 問題点



水たまりができた道路

従来の道路では、雨が降ってきた時に、大きな水たまりができてしまいます。そこへ車が走ると水しぶきが上がり、歩行者がいやな思いをすることがあります。冬になると水たまりが凍って非常に危険です。雪が降ると溶けた雪がまた水たまりになって、もっと水しぶきが大きくなります。

また、マンホールなどは濡れると滑りやすくなってしまいます。



ぬれたマンホール



このように道路には問題点がたくさんあるのですが、それらの問題点を解決するために、私たちはなんとか水たまりをなくし、安全な道路を作りたいと思いました。

ゴム、ゴム、道路

2

2 そこで!ごむ!



陸上競技場

そこで私達が思いついたのは、陸上競技場などに使われている、ゴムの地面です。普通のコンクリート道路を滑りにくいゴムに変える事によって雨が降った時にできる、いやーな水たまりをなくす事ができます。しかもそのゴムの道路には、直径5ミリ位の穴を多数開

け、そこから雨水を吸い込むので、水たまりにはまって、靴や服などが汚れるのも防げるでしょう。

また、大変滑りやすいマンホールの上にもゴム状のカバーの様なものをかぶせる事によって、子供やお年寄りが、転んだりするのを防ぐことができるでしょう。



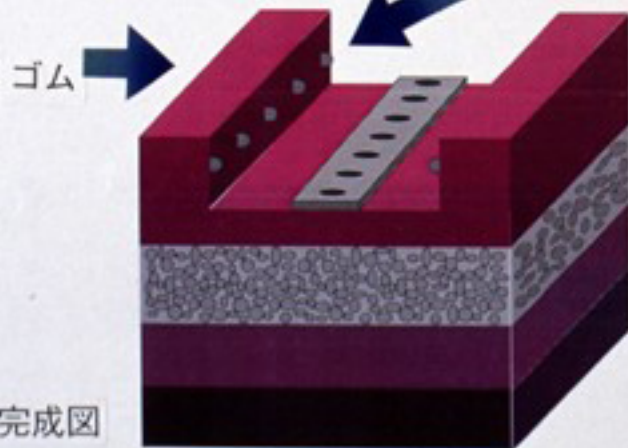
ゴム、ゴム、道路

3

* 雪の場合 *

雪が降った時には道路の中心からだけでなく、両方の端からも水を出す仕組みにします。その水で溶けた雪は水になり雨と同様に道路にしみこんでいきます。そうなればたくさん雪が降る地方でも、道路の水たまりは減ってより安全になります。

ここからも水がでる



完成図

3 利点！！



道路をゴムにする事で、水はけが良くなる事のほかに、例えば地震が起こった時、道路がひび割れるという事もなくなります。そして、雨の日によく起きる車のスリップ事故も減らす事ができるでしょう。

私たち北陸の土地は雪がたくさん降るので道路の雪がじゃまだったりする事がよくあります。この道路にすればきっとこれを解消する事ができるでしょう。

雨が多く、雪がたくさん降るこの北陸でゴムゴム道路は素晴らしい性能を発揮できると思います。

